

報告・協議 3

特別支援学校における技能検定の実施状況等について

このことについて、別紙のとおり報告します。

平成31年 4 月 24日

広島県教育委員会教育長 平 川 理 恵

1 技能検定の実施状況

(1) 趣旨

特別支援学校高等部に通う知的障害のある生徒の就労を支援するため、学校や関係企業団体（※）と連携して本県独自で開発した認定資格に基づく「技能検定」（実技）を、上期、下期で計 10 回実施した。

※関係企業団体（公社）広島ビルメンテナンス協会、（一社）日本ホテル・レストランサービス技能協会
広島県スーパーマーケット協会、（公社）日本メディカル給食協会

(2) 受検者数、級認定者数の状況

平成 30 年度特別支援学校技能検定の受検状況は、表 1 のとおりである。昨年度は、西日本豪雨災害の影響で第 1 回接客技能検定の中止や、交通遮断による第 1 回清掃技能検定辞退者の増加のため、一昨年度に比べ、延べ約 120 人減となった。また、平成 30 年度は、庄原特別支援学校、沼隈特別支援学校でサテライト型の技能検定を実施し、庄原特別支援学校では 2 分野で延べ 34 人、沼隈特別支援学校では 1 分野で 14 人が受検した。【表 1】平成 30 年度特別支援学校技能検定受検状況

分野	受検者数（人）			
	第 1 回	第 2 回	計	（参考）H29 計
清掃	497 (492)	570 (565)	1,067 (1,057)	1,080 (1,067)
接客	25 (24)	97 (96)	122 (120)	146 (146)
ワープロ	128 (128)	147 (147)	275 (275)	287 (286)
流通・物流	144 (135)	150 (144)	294 (279)	296 (266)
食品加工	103 (101)	86 (85)	189 (186)	259 (255)
合計	1,947 (1,917)			2,068 (2,020)

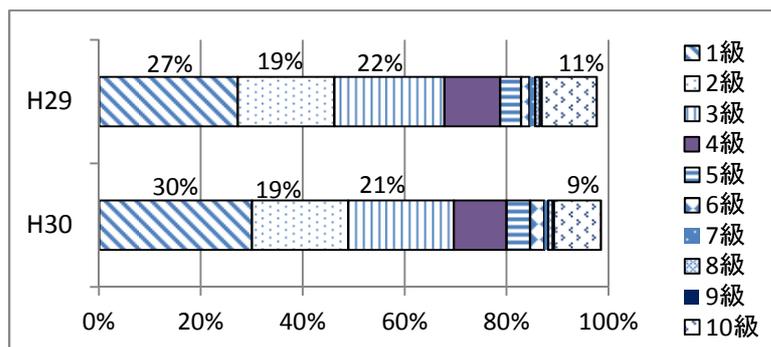
※人数は延べ人数、（ ）内の数は級認定者数。なお、平成 30 年度の実受検者数は 5 分野合計で 1,328 人（H29：1,408 人）。
※サテライト型で実施した庄原特別支援学校及び沼隈特別支援学校の受検者数は第 1 回を含む。

(3) 認定状況

総受検者の 98.5%がいずれかの級に認定された。

また、1 級取得者から広島県障害者技能競技大会（ひろしまアビリンピック）に参加する者があり、過去 3 年間を比較すると参加者数が増加している（H28：17 人、H29：23 人、H30：27 人）。技能検定を通して身に付けた知識・技能を活用し、さらに高い目標に向かって挑戦しようとする生徒が増えている（H30：金賞 2 人 銀賞 2 人 銅賞 2 人）。

【図 1】級の認定状況（H30 年度と H29 年度の比較）



(4) 合理的配慮について

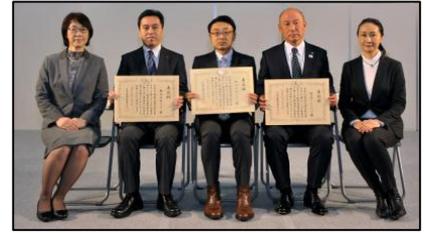
技能検定の本質的な目的から外れない範囲で、必要な受検者、延べ 85 件（H29：41 件）に対して、合理的配慮を提供した。合理的配慮により、技能検定に参加して自分の力が発揮できたという経験を積み、卒業後も自分から支援を求め、社会参加することに生かしてほしいと考えている。

2 他の就職支援の状況

(1) 特別支援学校就職サポート隊ひろしま（以下「サポート隊ひろしま」という。）

平成30年12月8日（土）開催の「ヒューマンフェスタひろしま2018」において、就労促進等に著しく貢献した企業として、株式会社イーアールジャパン、株式会社フレスタ、株式会社イズミを表彰した。

サポート隊ひろしま表彰企業



また、サポート隊ひろしまのCMを作成し、広島東洋カープ公式試合日にマツダスタジアムで放映したり、SNSに掲載したりするなど広報活動を行ったところ、登録企業数は平成31年3月末現在、321社となった。

サポート隊ひろしまCM



登録企業へ就職者数は、年々増加（【表2】）しており、効果が徐々に表れているが、企業の障害者雇用への理解啓発と生徒の就職支援のため、引き続き周知を図る必要がある。

(2) 特別支援学校の特色ある取組の情報発信

平成30年度は、知的障害特別支援学校の他に視覚障害特別支援学校においても、企業の採用担当者等を招き、「企業の参観日」（学校により名称は異なる）を実施するなど、各校が特色ある取組を情報発信し、企業就労への促進を図った。

【表2】サポート隊ひろしま登録企業への就職者数の推移

年度	登録企業のうち、 卒業者が就職した企業数	左記企業への 就職者数	就職者のうち、 登録企業へ 就職した者の 割合
H28	40	61	39.8
H29	36	64	36.4
H30	44	88	47.3

3 就職状況

平成30年度特別支援学校高等部の卒業生431人に対し、就労継続支援A型事業所を含む就職率は43.2%（就職者186人）（速報値）、一般企業への就職率は41.1%（就職者177人）（【表3】）といずれも過去最高であり、これら内定者のうち、約83%の生徒が技能検定を受検している。

一般企業への就職率が上がった主な要因としては、学年当初の就職希望者のうち、途中で進路変更する者が少なく（【表4】）、そのまま就職につながった結果であり、早期からの適切な進路指導が功を奏したと考えている。

【表3】特別支援学校高等部（専攻科除く）
卒業者の就職率の推移

卒業年月	H29.3卒	H30.3卒	H31.3卒
広島県 (A型事業所を含む)	38.4%	41.1%	43.2%
広島県 (一般企業のみ)	28.9%	35.0%	41.1%
全国平均(順位)	30.1% (29位)	31.2% (9位)	—

【表4】各年度の9月1日現在の就職希望率と
卒業時の就職率の比較

	H29.3卒	H30.3卒	H31.3卒
9.1(a)	35.0%	36.6%	43.4%
卒業時(b)	28.9%	35.0%	41.1%
b - a	-6.1	-1.6	-2.3

4 今後の取組

生徒への就職支援のため、引き続き次の事項に取り組む。

- (1) 特別支援学校技能検定の実施（5分野：上期・下期各1回及びサテライト型による実施）
- (2) 有識者や部会員等の意見を踏まえ、技能検定の実施内容に係る検証及び改善の検討
- (3) 「特別支援学校就職サポート隊ひろしま」登録制度の周知及び企業登録の促進
- (4) 職業教育の充実による実践的な力の育成
- (5) 各特別支援学校の特色ある取組の情報発信並びに企業及び保護者への理解啓発